

平成28年度 三重県 認知症介護実践者研修 カリキュラム (第二回)

実践者研修 講義/演習 32時間(1920分) 職場実習:4週間 実習のまとめ:レポート及び報告

日時	項目	分	区分	ねらい	内容
平成28年 9月 6日(火) 三重県総合文化センター 男女共同参画センター 3階 セミナー室C					
9:15~9:50	受付				
9:50~10:00	オリエンテーション	10		開講式、オリエンテーション	
10:00~12:00	認知症介護実践者研修のねらい 新しい認知症介護の理念の構築 研修期間における自己課題の設定	120	演習	研修の目的と目標を示し、それに沿って研修カリキュラムがどのように組み立てられているかを理解し、受講の方向性を明確にする。加えて、研修の機会を、研修生のストレス緩和の場、情報交換、ネットワークづくりの場に活用することを促す。	・研修目的・目標の明示 ・目的・目標とカリキュラムの関係を明示 ・研修の機会を、主体的、積極的に自分の学習の場として活用する意義の明示 ・先進的介護サービス事業所の理念の提示
12:00~13:00	昼休み				
13:00~14:30	認知症介護実践者研修のねらい 新しい認知症介護の理念の構築 研修期間における自己課題の設定	90		高年齢者の能力に応じて自立した生活を保障するために求められる介護理念を、グループワークを通して検討し、自分の言葉で構築することを目指す。その際に、先進的な事例を複数例示し、抽象的にならず具体的に検討することを促す。	・演習を通して他研修生の意見を聴き、自分の介護を振り返る。 ・介護理念の再構築 ・研修中の課題設定 ・課題を文章として示す。
14:30~14:35	休憩				
14:35~16:35	認知症高齢者の医学的/心理的理解	120	講義	認知症という病気の症状の説明に終わるのではなく、医学的/心理的理解が、認知症介護を行うにあたって必要とされる理由を理解されること、医学面から本人の生活に及ぼす影響を示し、周囲の不適切な対応・不適切な環境が及ぼす心理面の影響の内容を理解すること。	・認知症の原因疾患とそれに伴う障害等の内容及びそれらが個人の生活活動に及ぼす影響 ・自立支援の中で医学の果たす役割の提示 ・加齢や老化による心理面への影響と、認知症が及ぼす心理面への影響 ・それらが個人の生活活動に及ぼす影響 ・周囲の対応 ・環境が個人に及ぼす心理面の影響 ・自室支援の中で心理的理解が果たす役割の提示
平成28年 9月 8日(木) 三重県総合文化センター 男女共同参画センター 2階 セミナー室A					
9:30~10:00	受付				
10:00~11:30	家族の理解・高齢者との関係の理解	90	講義	家族介護者のみではなく、他の家族も含めた家族の理解と、高齢者と家族の関係を通して、認知症介護から生じる家庭内のさまざまな問題や課題を理解し、家族への支援の重要性の理解を深める	・高齢者と家族との関係 ・認知症が家庭内に与える影響(介護の困難さを含む) ・家族支援の方法と効用
11:30~12:30	昼休み				
12:30~14:30	意思決定支援と権利擁護	60	講義	認知症により、日常生活の中で制限されてしまう個人の自由や意思決定が本来どのように保障されるべきかを理解する。その阻害の例として、虐待、高次の内容を理解し、人権擁護の具体的な方法の理解を深める	・個人の人権の重要性 ・自由の尊重と意思決定の尊重 ・虐待・拘束の定義と具体的内容 ・人権擁護・成年後見制度 ・高齢者虐待の防止、高齢者の擁護者に対する支援に関する法律に基づく要介護施設従事者として必要な知識の付与に努める。
	生活の質の保障とリスクマネジメント	60	講義	認知症を抱えることによる生活の質の低下と、事故の危険性、個人の生活の質を継続的に保証するためのリスクマネジメントのあり方	・認知症が及ぼす事故の危険性の内容 ・個人の生活の質の保障と重要性 ・認知症介護に求められるリスクマネジメントの目的と内容 ・家族の了解を含めたリスクマネジメントの方法 ・安全管理と人権の関係の理解
14:30~14:35	休憩				
14:35~16:35	生活の捉え方	120	講義/演習	認知症という障害を抱える中で、自立生活を送る意味と、それを支援していくための役割を果たすための重要性を学ぶ。	・生活障害者としての認知症の理解 ・個人と認知症との関係の理解 ・生活支援の重要性の理解 ・演習は90分以上
平成28年 9月 14日(水) 三重県総合文化センター 男女共同参画センター 2階 セミナー室A					
9:30~10:00	受付				
10:00~12:00	認知症高齢者の理解に基づいた生活のアセスメントと支援	120	講義	自分の能力に応じて自立した生活を送るための支援として必要な、認知症介護のアセスメントと生活支援の基本的な考え方の理解	・介護現場で、介護理念と個人の介護目標を結びつけることの重要性 ・認知症介護におけるアセスメントとケアプランの作成の際の基本的な考え方
12:00~13:00	昼休み				
13:00~16:00	事例演習	180	演習	自施設での事例を基に、個人への支援にたったアセスメントと生活支援の方法の基本を理解する。	・事例演習による具体的な考え方の体験的理解 ・援助方法の展開の体験的理解
平成28年 9月 15日(木) 三重県総合文化センター 男女共同参画センター 2階 セミナー室A					
9:20~9:30	受付				

日時	項目	分	区分	ねらい	内容
4日目	9:30～12:30	180	講義/演習	高齢者、家族、その他の援助者などとの対人関係のとり方を理解し、援助者の求めるものを理解する。 高齢者だけではなく、家族や他の援助者等とのコミュニケーションに際して、コミュニケーション/本質を理解し、実践で活用できる技術を身につける	・高齢者、家族、他の援助者、近隣住民等との関係の持ち方の基本 ・援助者の位置づけとあり方 ・コミュニケーションをとることの意義と目的 ・高齢者とのコミュニケーション技法 ・家族とのコミュニケーション技法 ・他の援助者とのコミュニケーション技法
	12:30～13:30				
	13:30～15:30	120	講義	地域社会、社会制度などの地域社会環境の理解を深め、その環境の持つ意味を考え、援助者として環境に働きかけることの重要性を理解する	・地域社会環境の内容 ・生活に与える影響 ・地域社会環境との関係の取り方

平成28年 9月27日(火) 三重県総合文化センター 男女共同参画センター 2階 セミナー室A

5日目	9:30～10:00	受付				
	10:00～12:00	人的環境と住環境を考える	120	講義	高齢者を取り巻く人間関係としての人的環境と住まい(自宅、GH、施設など)を中心とした住環境の理解を深め、2つの環境の持つ意味を考え、援助者として環境に働きかける重要性を理解する	・人間関係としての人的環境の内容と生活に与える影響 ・住まいとしての住環境の内容と生活に与える影響
	12:00～13:00	昼休み				
	13:00～15:00	生活環境を考える演習	120	演習	具体的に認知症介護における環境への関わり方法を検討する。	・事例を用いた体験的理解 ・環境への関わり方の具体的な方法の検討 ・家族の位置づけは、家族支援の視点も含めること
	15:00～15:05	休憩				
	15:05～16:35	生活支援の方法	90	講義/演習	高齢者が様々な人的、物的、社会的環境の中で生活していくことをどのように支援していくべきかを理解する。	・日常生活支援のありかた ・その援助方法・環境調整、地域資源の活用の重要性 ・事例を用いた体験的理解と具体的な方法の検討 ・家族の位置づけは家族支援の視点も含める ・演習は60分以上であること

平成28年 9月28日(水) 三重県総合文化センター 男女共同参画センター 2階 セミナー室A

6日目	9:15～9:30	受付			
	9:30～10:30	職場実習にあたる目標設定	60	演習	施設実習での実習を通じ学ぶための目標/課題を設定する。
	10:30～12:00	実習課題設定	90	演習	4週間の職場実習での、自己の目標設定を考え、課題が達成できるための実習計画の立案を行なう。
	12:00～13:00	昼休み			
	13:00～16:30	実習課題設定	180	演習	

平成28年 9月29日(木)～平成28年10月26日(水)

		職場実習	4週間	実習	4週間の職場実習で、自己が設定した課題を達成し、成果を得る。
--	--	------	-----	----	--------------------------------

平成28年11月 8日(火) 三重県総合文化センター 男女共同参画センター 2階 セミナー室A / 3階 セミナー室C

7日目	9:15～9:30	受付			
	9:30～12:00	実習結果報告とまとめ	1日	演習	4週間の職場実習での振り返りを発表する。
	12:00～13:00	昼休み			
	13:00～16:00	実習結果報告とまとめ			
研修修了 1か月後	効果測定				研修修了後の自己評価及び振り返りシート(200文字以上)提出